

# Access Report

2018年 4月 5日号  
アクセス教育情報センター

## 目次

学校情報	学校情報	入試情報	教育情報	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香蘭女学校</li> <li>・自由学園</li> <li>・横浜市立南高付</li> <li>・合同相談会3</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校別入試結果</li> <li>抜粋</li> <li>共学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新共通テスト</li> <li>・大学入試共通テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名言・迷言・冥言</li> <li>・中学受験</li> <li>・受験生のみなさんへ</li> </ul>

## 学校情報

### 香蘭女学校 2回入試に

2019年入試から2月2日に午後入試を導入。

第1回 2月1日午前 100名 2科4科選択

第2回 2月2日午後 60名 2科

面接を廃止。

出願もweb出願のみに。

=香蘭もこれまで築いてきた土俵を自分から降りることに。=

<http://www.koran.ed.jp/>

6年生のみなさんへ  
香蘭女学校2019年2月の入試が変わります。

2月1日に加え、2月2日午後入試を実施します。  
両日とも面接は行いません。

第1回 募集人数 100名  
2019年2月1日(金) 午前 2科・4科選択  
2科 (国語 50分/100点・算数 50分/100点)  
4科 (国語 50分/100点・算数 50分/100点・社会 30分/50点・理科 30分/50点)  
合格発表 2月1日(金)  
面接は行いません。

第2回 募集人数 60名  
2019年2月2日(土) 午後 2科  
2科 (国語 50分/100点・算数 50分/100点)  
合格発表 2月3日(日)  
面接は行いません。

詳細は募集要項をご確認ください。(5月上旬発行)。

### 自由学園 訪問報告(2018年3月12日)

(高橋学園長への取材で伺った話を学校案内で補足しています)

高橋学園長は中学から高校、最高学府(大学部)と自由学園で過ごす。自由学園の大学部では教員資格が取れないので、他大学で教員資格を取り自由学園に。中学時代から数えると45年近く自由学園で過ごす。



女子部全景



女子部校舎

中高時代は大学への階段ではなく、その先の社会に出たときの土台作りの時期。

教育には、その時々<sup>1</sup>の社会の求めに応じて人材を社会に送り出す役割が課せられており、今求められているのは、国際的な競争をリードするグローバル人材です。しかし、自由学園が目指す教育は、社会の求める姿に自分を適合させる人材教育ではありません。自分はこのように生きたい、このような社会を作りたいと言う主体性とそれを実現していく実践力、そして生き方の指針となる確かな価値観を備えた人間を育てる人間教育です。

(学校案内より)

教員募集に応募してくる人の多くはホームページ等で自由学園の独自の教育を知って応募してくる。自由学園の教育を経験せずに本校の教員になった人も、全体会(幼稚園～大学部)や各部の勉強会で、話を聞いたり本を読んだりして理念や実践を学び続けている。新任の先生には、自由学園のエッセンス集を渡し、自由学園が目指しているものを共有するようにしている。

自由学園は「生活即教育」の実践の場。勉強や部活以外でも生徒と関わる場面が多い。その大変さは新任の先生だけでなく皆が感じているが、同時にやりがいや他の教育現場との違いを感じている。

生活即教育＝「よく教育することはよく生活させることである」教室の中でする学科の勉強だけでなく1日24時間すべてが勉強である。実生活のあらゆることが学びの機会になる。学校生活・寮生活・行事運営そのものが協働的な学びの場になっており、いわば独自のアクティブラーニングが97年間続いている。

デンマーク体操は全員が必修。デンマークは農業国で体作りが重視されていた。それを知った創立者が一生の体作りのために取り入れる。大学部にもデンマーク体操の時間がある。デンマークから指導者を迎え、英語によるデンマーク体操の授業も行われる。

美術は幼稚部から大学部まで必修科目。発見するまなざしと創り出せる手を養う。行事や寮生活を通して、学習面以外で生徒が周りから評価される場面が多い。学びの報告会…各クラスで保護者を招いて行われる。生徒たちの前で先生が今年1年の学びについて評価する。全員で評価を共有する。学びは個人のものではなく皆のものである。だから評価も皆で共有する。勉強は個人のためのものではない。成績も自分個人のものではない。寮生は自分でお金の管理をして親に報告する。生徒は自分の小遣いの中から毎月、公共費を積み立てている。何かあったら社会のために使う。そこには、家計も個人のものではなく社会の一員としてのものという考え方がある。自分が稼ぐのは皆のために使うため。

### 自由学園男子部の一日



毎日、礼拝を行う。月曜日は中高一緒に。先日の礼拝は震災をふり返る日に。震災を忘れないというのが、いつしか気にしなくなっている。自由学園では8月に被災地にサマースクールで出かける。大学部の生徒は岩手に、中高生は宮城に。9月と12月には東北復興支援活動を行っている。過日の礼拝では高3の二人がサマースクールの経験を話す。初めて現地の人と話してくれたことから、「足を運んで、一緒に時間を過ごすことによって見えてくるものがある」「支援というと、何かを与えるということが多いが、それで被災地の人に伝えられているのか。つながりを大切にすることが大事ではないか」という話をする。また、礼拝で新入生が「自分のことを自分で出来ようになりたい」という話をした。彼女は委員になって、雑巾を管理する人がいることを初めて知る。そうした人がいることで社会が成り立っていることに気づく。公でありながら裏方でもある立場がある。学年が上がるごとに自という意味が自分から広がっていく。礼拝は自分で話すと共に人の話を聞く機会でもある。そこで聞くことの大切さを知る。自由学園では生徒が感じたこと、思ったことを言葉にする機会が何度もある。それがスパイラルに積み重なっていく。夏休み学期(自由学園では夏休みも1つの学期)が終わると、夏休みをどう過ごしたかを作文にして、クラスで報告し合う。その中から代表が全校生徒の前で発表する。こうして誰がどんな体験をしたかを共有し合う。それにより、あの学年ではあんなことを体験しているのかを知る。教員が話すのと違って、あこがれを感じる。

冬休みの後には、新年言志という新年の抱負を全員が聞き合う会がある。昨年1年を振り返り、今年はどうしたいということを皆の前で話す。

自由学園では生徒同士が本当の兄弟、姉妹のようになる。顔の見える生徒同士が支え合う。今の社会は心の豊かさを排除している。自然から離れて、バーチャルな生活を送っている。子どもの未来が壊れかかっている。牧歌的なものの持っている良さに回帰していくのは自然なこと。文科省が最近言っていることは建前上かもしれないが、自由学園の教育に近づいている。食育や服育、アクティブラーニング等が言われているが上辺だけ。そうした上辺の動きに、変に取り込まれたくない。

自由学園では協働ということが学校生活の中に織り込まれている。学校生活をする上で、力を合わせないと学校生活が出来ない。学校生活そのものが協働的な学びになっている。

学校内での役割が学年が上がるにつれて広がる。その中でどのように仕事をやり遂げ、責任を果たすのかを自然に学んでいく。

寮は中1男子は全員が入る。中2以降は希望者が入るが、今年の高3はクラスで話し合い、全員が寮生活を送っている。女子は中1から希望者が入る。

寮では生徒がお互いを支え合っている。男子は何となく入ってきてしまったという生徒でもやっているが、女子は合う合わないがはっきりしている。保護者の寮に対する考え方も重要。

男子寮では150名が女子寮では120名が寮生活を送っている。海外からの留学生もいる。

#### 寮生活の1日 男子部(学校案内より)

- 5:30 起床 自炊当番の生徒は4:30起床
- 6:00 朝食
- 6:30 掃除
- 7:40 登校
- 16:00 帰寮・自由時間
- 18:00 夕食
- 19:00 集中勉強(100分間)  
上級生から教わることや、教員による補習も。
- 21:40 入浴・自由時間
- 21:30 中等科就寝
- 22:30 高等科就寝

1室6~8名。高3が室長として同じ部屋の後輩の面倒を見る。先輩、後輩のつながりが強い。

高3が卒業する際の感謝の会では中1がお礼を言う。

高3は受験時期だが、学校は受験のための指導はしない。高3は1年生の指導、最高学年として学校生活に対する責任もある。その中で自分がどうしたらよいかという正解はない。担任が生徒の話聞いてやるしかない。それでも生徒は力をつけて進学している。

大学部は学校制度上、予備校の扱い。女子は大学部では資格が取れないので外に出て行く生徒が多い。昨年は3名がICUに。九大に進学した生徒もいる。そうした大学入試結果は学校として広

**寮生活**  
もう一つの家族がここに。—「東天寮」—

入学後1年間は全員が寮生活を送ります。寮生活を通して自分の衣服やお金の管理、掃除や食事の片づけなどさまざまな責任を果たす中で、自立心や生活力を身につけます。  
また、異なる学年や性別、趣味を持った寮生と関わることで、コミュニケーション力が養われます。

**寮生活の1日**

全寮員から入居した生徒たちの自給自足の場。目録帳や名刺、家族のように寮生も帰って来るとし、食も洗濯する自分も寮生。年々、友の大切さを実感します。

**起床～登校まで**

- 5:30 起床 下校までを自炊します。掃除当番の生徒も参加します。
- 6:00 朝食 みんなで寮の食事をいただきます。
- 6:30 掃除 寮内を清潔でキレイにしておきます。
- 7:40 登校 正門を出て男子寮まで歩いていきます。

**帰寮～就寝まで**

- 16:00 帰寮・自由時間 帰寮後、洗濯など、思い思いに過ごします。
- 18:00 夕食 中食もたべた後、夜食もみんなで作ります。
- 19:00 集中勉強 100分勉強に集中します。各自各自のペースで勉強をします。
- 20:30 入浴・自由時間 寮内で20分入浴し、自由時間を楽しみます。
- 21:30 就寝 寮生は各自の部屋で寝ます。

**寮での勉強**

寮では19時から集中勉強の時間があります。各自で机に向かって勉強しますが、寮ならではのプログラムも用意されています。月曜日から金曜日まで、教員が寮に毎日来校して授業を行います。先輩から後輩に教わっている生徒の質問にも答える取り組み。マンツーマンで勉強してほしい生徒には、寮長が寮生が質問をしてくれるプログラム。また、全寮員の勉強の進捗を把握しているスタッフが定期的に、進捗や勉強、寮生活の様子を保護者の方へのご家庭でご報告をいただいております。生徒たちは毎日あったふたりの笑顔を見ながら勉強しています。



報していない。

男子は卒業生が実績を作ってくれていて、大学部が社会から認められているので大学部に進む生徒が多い。女子部は約4割が、男子部は約6割が大学部に進学。

大学部は自由学園の一貫教育の最終過程として少人数による独自のリベラルアーツ教育を行っている。大学部を出て大学院や海外の大学に進学する学生もいる。

自由学園では学校生活を通して、答えのない社会で生きていける生徒を育てる。

学校は卒業して時間が経つほどに、その学校の教育の価値が出てくる。

卒業生が「就職する際、自由学園が足かせになっていると感じたこともあるが、今は自由学園で過ごして良かったと思っている」と感想を述べてくれた。時間が経てば経つほど自由学園で過ごした価値がわかると思う。

学校生活の中で大変さを切り抜けていく力を生徒につける。

不便なことを教育する。教育の場は不便でなくてはならない。便利、快適のものを与えられているとダメになる。不便の中で育つことに価値がある。それを不便益と言っている。

スマホをガラケーに変えると給与に上乘せする会社の記事があったが、休憩時間の使い方が変わるから。

食堂の暖炉に火を入れる委員がいる。薪に火をつけるのだが、マツバ、マツボックリと順番に燃やして薪に火をつける。火や刃物を扱ったことのない生徒が増えている。

自由学園は校内に松がたくさんあるので、焚きつけにするマツバ、マツボックリがふんだんにある。

男子部では腕時計の分解組み立てを行う。最初は目覚まし時計を木の歯車で作ったことも。カメラを分解し組み立てたことも。現在は、外見は4種類だが、内部機構は同じ腕時計を使用。時計会社の技術者の資格認定用に使われている時計を使用。時計の分解修理の技術を持った人が3人ついて指導。午前中の4時間を2日かけて分解、組み立てを行う。学びは手と頭を使って行うもの。



昼食も自分たちで作る。

男子は週1回、高等科の2年生が担当し男子部全員の昼食を作る。日本語と英語のレシピをもとに。他の曜日は保護者が。保護者のチームワークができています。保護者も一緒に食べるので、生徒の成長、学びを知ることが出来る。

女子は各学年がそれぞれの曜日を担当。学年の半数が調理を半数が後片付けを担当。調理担当はその日の3・4時間目を使って準備をする。ご飯も薪で炊く。食堂では1つのテーブルに各学年の生徒が同席し、学年を越えて交流する場になっている。食事前に献立についての説明、カロリー、一人あたりの金額の報告もある。女子の保護者からも自分たちも関わりたいという要望がある。いずれは男女とも同じようにしたいと思っている。

先日の日曜日には大学部の卒業生の保護者が学内の清掃を行ってくれる。学校への感謝を示す

方法として、感謝金を集める方法もあるが、自分たちの時間を使って感謝の気持ちを表したいと清掃の日を作り、学内の清掃を行ってくれる。この他にも、自由学園では保護者が学校運営に関わることが多い。

100周年を迎えるにあたり、男女が共に学ぶが課題だとおもっている。

もともと女子の自立のための学校。一人の人として育てる。良妻賢母ではダメ。結婚、出産が前提となっているから。

自立のためであれば男子でもできるはずと男子教育にもチャレンジする。机の自作、そのための植林は男子の力を引き出すための取り組み。厳しい自然の中で不屈の精神を育む。

今後、男女共学ということも考えていく。学校生活は別だが、行事、体操は一緒に行っている。大学部も以前は男女別だったが、20年前に共学に。

女子のこれまで積み上げてきた学校生活のやり方が完成されすぎている。

出来上がったシステムを壊すにはそれ以上の目標がないといけない。はたして創造的な壊し方ができるかどうか。男女の合同授業、男子部と女子部の先生の入替えなどを行いながら徐々にやっていたらと思っている。

=ある方が、自由学園は和菓子で言えばとらやだと仰っていた。老舗として伝統に支えられた信頼と味はあるが、今は世間が和菓子でなく洋菓子を求めている。それも味のきつい洋菓子を。その中で、和菓子の微妙な味わいを守って本当の和菓子を求める少数の人に伝えていくのか、味の濃い洋菓子風の和菓子にするのか。和菓子の味わいのわかる人を自分たちが増やさなくてはならないだろう。時間が足りず、伺えたのは自由学園の考え方、取り組みの一部にしか過ぎないことをお断りしておきます。=(文責 アクセス教育情報センター)

<https://www.jiyu.ac.jp/>

## 合同相談会3

私立中学を知る会 in 小田原

日時 5月13日(日) 11:00~15:00

場所 小田原市川東タウンセンター マロニエ3F ホール

(JR東海道線鴨宮駅徒歩15分)

内容 個別相談・生徒による学校紹介・行事等紹介写真展

参加校 (プレゼンテーション順)

藤嶺藤沢、アレセイア湘南、鎌倉女学院、函嶺白百合、相模女子大中、

自修館中等、湘南学園、

相洋、東海大相模、桐光学園



東京11支部合同相談会

日時 5月27日(日) 10:00~16:00

場所 京王プラザホテル八王子5F (JR八王子駅徒歩1分)

内容 各校担当者との個別相談

参加校(中学募集校のみ記載)

穎明館、桜美林、大妻多摩、共立第二、国立音大附、啓明学園、工学院大附、駒沢学園女子、サレジオ中、白梅学園清修、創価、多摩大聖ヶ丘、帝京大中、帝京八王子、東海大菅生、東京純心女子、桐朋、日体大桜華、八王子学園八王子、八王子実践、明治学院、明大中野八王子、明星、明法



相模大野・町田地区私立中学合同説明会

日時 5月31日(木) 10:00~14:30

会場 相模女子大グリーンホール多目的ホール  
(小田急線 相模大野北口徒歩4分)

内容 個別相談、各校によるプレゼンテーション



私触会

日時 6月5日(火) 10:00~14:00

場所 新都市ホール(そごう横浜9F)  
(JR横浜駅 徒歩7分)

内容 相談コーナー、学校紹介スピーチ

参加 鷗友学園、小野学園女子、神奈川学園、鎌倉女学院、鎌倉女子大学中、カリタス女子、函嶺白百合、北鎌倉女子、麴町学園、相模女子大中、湘南白百合、昭和女子大昭和、聖セシリア女子、清泉女学院、聖ヨゼフ学園、聖和学院、洗足学園、捜真女学校、玉川聖学院、田園調布学園、東京女子学園、桐光学園(女子部)、トキワ松学園、日本女子大附属、フェリス女学院、聖園女学院、目黒星美学園、横浜共立学園、横浜女学院、横浜雙葉

<http://www.shishokukai.com/>



神奈川私立男子中学校フェア2018

日時 6月10日 10:00~16:00

場所 栄光学園  
(JR大船駅 徒歩15分)

内容 個別相談、学校紹介スピーチ、在校生によるパネルディスカッション等

参加校 浅野・栄光学園・鎌倉学園・慶應義塾普通部・サレジオ学院・逗子開成・聖光学院・桐光学園・藤嶺学園藤沢・武相・横浜